

# 国語

## 中学1年

### 発展編

#### 本書の構成と特色

- 全体の構成 このテキストは、一学年までに学んだ事柄を、精選された素材によって、合理的かつ総合的に学習できるように編集してあります。
- 単元の構成 一つの単元は、**要点チェック**⇒**確認問題**⇒**練成問題**の順に構成してあります。なお、要点チェックは、各単元ごとではなく、客観事項の確認の必要性、あるいは、読解において必要かつ有益と思われる知識のある単元に配してあります。
  - ◆ **要点チェック**……問題を解くうえで不可欠と考えられる実用的な知識や、内容やテーマを速く正確に把握するための知識が確認できるようにしてあります。
  - ◆ **確認問題・練成問題**……基本的な問題の量・素材と問題の難易度により、確認問題・練成問題とに分けてあります。また、真の理解力と表現力を養うために、記述問題を多く配してあります。

#### CONTENTS

1 漢字・語句・文法	2	5 随筆	18
2 小説(1)	6	6 詩	22
3 小説(2)	10	7 古典	26
4 論説文	14	8 総合問題	28

1

# 漢字・語句・文法

■学習日

## 要点チエック

- (1) 次の  に入る適語を答えよ。
- ① 文字 (鳥・魚)   ② 指事文字 (上・下)   ③ 会意文字 (畑・森)
- ④ 文字 (河・板)   ⑤ 転注文字 (楽・悪)   ⑥ 仮借文字 (巴里)
- (2) 次のそれぞれの漢字の部首名を答えよ。
- ① 医    ② 神    ③ 箱
- ④ 然    ⑤ 店    ⑥ 部
- (3) 次の  に入る適語を答えよ。
- ① 音読み (冷温・下流)   ② 訓読み (草花・近道)
- ③ 読み (野宿)   ④ 重箱読み (絵筆)   ⑤ 熟字訓 (七夕)
- (4) 次の文を構成している①文節と②単語の数を漢数字で答えよ。  
(太陽が西の空にゆつくり沈んだ。)
- ①    ②
- (5) 次の  に入る適語を答えよ。
- 文節相互の関係には、 ① 「」、「」の「修飾・被修飾」、「補助・被補助」、「接続・被接続」、「並立(対等)」、「独立」がある。
- 品詞は、 ②  と付属語とに大別でき、②はさらに、動詞、形容詞、 ③  などの用言、名詞である ④ 、そして、副詞、 ⑤ 、接続詞、感動詞に分けられる。付属語はさらに、活用のある ⑥  と、活用のない助詞とに分けられる。

## 確認問題

1 次のそれぞれの組の漢字が組み合わせることができる会意文字を答えなさい。

- |                                  |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> (1) 鳥・口 | <input type="checkbox"/> (2) 口・夕 | <input type="checkbox"/> (3) 子・女 |
| <input type="checkbox"/> (4) 人・立 | <input type="checkbox"/> (5) 衣・刀 | <input type="checkbox"/> (6) 月・田 |

- |     |  |
|-----|--|
| (1) |  |
| (2) |  |
| (3) |  |
| (4) |  |
| (5) |  |
| (6) |  |

2 次のそれぞれの組の漢字の部首は、共通したある一字の漢字をもとにしてできています。その共通した漢字をそれぞれ書いて答えなさい。

- |                                    |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> (1) 快・志・愛 | <input type="checkbox"/> (2) 打・承・拳 | <input type="checkbox"/> (3) 育・臓・腐 |
| <input type="checkbox"/> (4) 券・利・切 | <input type="checkbox"/> (5) 独・状・獲 | <input type="checkbox"/> (6) 流・永・泉 |

- |     |  |
|-----|--|
| (1) |  |
| (2) |  |
| (3) |  |
| (4) |  |
| (5) |  |
| (6) |  |

3 次のそれぞれの——線部のカタカナの熟字訓を持つ二字熟語を、あとの「」内の漢字を組み合わせさせて答えなさい。

- |                                       |                                      |                                     |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> (1) クダモノを買う。 | <input type="checkbox"/> (2) ツユがあける。 | <input type="checkbox"/> (3) タビをはく。 |
| <input type="checkbox"/> (4) アズキをゆでる。 | <input type="checkbox"/> (5) シナイをふる。 | <input type="checkbox"/> (6) ナゴリの雪。 |
- 〔竹・袋・豆・物・梅・残・足・小・名・刀・果・雨〕

- |     |     |  |  |
|-----|-----|--|--|
| (4) | (1) |  |  |
| (5) | (2) |  |  |
| (6) | (3) |  |  |

4 次のそれぞれの組の  に共通して入り、慣用句を完成させる人体の一部を表す漢字一字をそれぞれ書いて答えなさい。

(3)	(1)
ウ <input type="checkbox"/>	ウ <input type="checkbox"/>
イ <input type="checkbox"/>	イ <input type="checkbox"/>
ア <input type="checkbox"/>	ア <input type="checkbox"/>
がすすべる	が利く
が軽い	に付く
が重い	を折る
を決める	に泥を塗る
(4)	(2)
ウ <input type="checkbox"/>	ウ <input type="checkbox"/>
イ <input type="checkbox"/>	イ <input type="checkbox"/>
ア <input type="checkbox"/>	ア <input type="checkbox"/>
が黒い	が広い
が立つ	が利く

(1)
(2)
(3)
(4)

5 次のそれぞれの文の——線部の文節としては、互いにどのような関係にありますか。適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 走ったが、遅刻した。
  - (2) 代表には、君か ぼくかの どちらかが 選ばれる。
  - (3) 実際に 触れて みれば 品質の 良さが わかる。
  - (4) 父の 許しを 得て ぼくも 旅行に 行きたい。
  - (5) 早く 完全に 文法を 覚えれば あとは 楽に なる。
  - (6) もしもし、駅へは どう 行けば 良いですか。
- ア 主語・述語    イ 修飾・被修飾    ウ 接続・被接続  
 エ 補助・被補助    オ 並立(対等)    カ 独立

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

考え方は百人いれば百通りに <sup>①</sup>ちがいで、それは当然のことだ。どんなに小さなことであつても、その人の <sup>②</sup>個性は表れる。 <sup>③</sup>その個性はその人が生きていく中で獲得したものだ。多くの人と関わり、多くの物事を経験していく中で、個性が形成されていったのである。 <sup>④</sup>だから、個性は <sup>⑤</sup>生来的なものだと思ふのはやめて、客観的に分析すべきだろう。 <sup>⑥</sup>そうはいっても、 <sup>⑦</sup>おそらく大抵の人間には <sup>⑧</sup>むずかしいことだと思われる。客観的に見 <sup>⑨</sup>うとすればするほど、見たくない自分の姿を見ることになってしまうからだ。

(1) ——線Aは、どのような文の成分になっていますか。適切なものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 主部    イ 述部    ウ 修飾部
- エ 接続部    オ 独立部

--

(2) ——線①～⑨の単語の、本文中における品詞名を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 動詞    イ 名詞    ウ 副詞    エ 助詞
- オ 形容詞    カ 連体詞    キ 助動詞    ク 接続詞
- ケ 感動詞    コ 形容動詞

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
	⑤

(3) (2)の選択肢ア～コの中から、自立語のうち、用言でも体言でもない品詞を四つ選び、記号で答えなさい。


練習問題

1 次のそれぞれの線部のカタカナは漢字で、漢字は読み方をひらがなで書いて答えなさい。

- (1) オンピンな処置。
- (2) ナメらかな手触り。
- (3) カンキョウを美しく保つ。
- (4) 夜空にカガヤク星。
- (5) 優勝をキガンする。
- (6) 急な出来事にオドロク。
- (7) お客をカンゲイする。
- (8) 夏らしいヨソおい。
- (9) 溪谷を歩く。
- (10) 敵の術中に陥る。
- (11) 静粛に聞く。
- (12) 趣のある部屋。
- (13) 帰巢本能。
- (14) 災難を被る。
- (15) 植物が繁茂する。
- (16) 大使を遣わす。

(13)	(9)	(5)	(1)
(14)	(10)	(6)	(2)
(15)	(11)	(7)	(3)
(16)	(12)	(8)	(4)

2 次のそれぞれの□にあてはまる二字熟語を、あとのカタカナから選び、漢字に直して答えなさい。(同じ読みは二度使えません)

- (1) 病気が□に向かう。
- (2) 作家の□会を聞く。
- (3) 病的な新發明。
- (4) 受賞を自ら□する。
- (5) 誤りを□する。
- (6) せっかくの□を逃す。
- (7) □を考えこむ。
- (8) □を乗り越えて進む。

- 〔シンコク コウエン ジタイ カツキ〕
- 〔シヨウガイ カイホウ キカイ テイセイ〕

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

3 次の文章の線①～⑤の内容を意味として持つことわざを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

〈たとえよいことをしても、それはなかなか人に知られるものではありません。ところが、①いったん悪いことをしたとなるとたちまちそれは世間に広まりまゝす。そして人々は、②自分のしたことだから罰せられるのはあたりまえ、当然のむくいだと冷たくあしらいます。それどころか、ふだんその人と親しい人までも「③かかわりあうとんだことになる」と知らん顔をします。人間は④慎重の上にも慎重に行動しなければなりません。しかし、またよくしたもので、⑤二、三か月もしないうちに、けろりと忘れてしまうものです。〉

- ア さわらぬ神にたたりなし
- ウ 人のうわさも七十五日
- オ 石橋をたたいて渡る
- キ 勝つてかぶとの緒をしめよ
- イ 悪事千里を走る
- エ 自業自得
- カ 言わぬが花
- ク なくて七くせ

□
①
②
③
④
⑤

4 次のそれぞれの文の線部は、それぞれどんな文の成分になっていますか。あとから適切なものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) — 線①～⑥の単語の本文中における品詞と同じ品詞のことばを次のA群の——線部から一つずつ、また、その文法上の性質としてあてはまるものをB群から一つずつそれぞれ選び、記号で答えなさい。

〈湯川秀樹「具象以前」より〉



5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

- (1) わたしはスポーツはしない。もつとも、見るのは好きだ。  
 □(2) やれやれ、やつと目的地に着きました。  
 □(3) 赤いのや白いのが、たくさん飾<sup>かき</sup>つてある。  
 □(4) かれは、スポーツもできれば、勉強もできる。  
 □(5) わたしたちは、七時半のバスに乗ります。

- ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部  
 工 接続部 才 独立部

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

- (2) — 線A「得られる」という述語に対する主語を、本文中から一文節で書き抜いて答えなさい。
- (3) — 線B「結論が」という主語に対する述語を、本文中から一文節で書き抜いて答えなさい。
- (4) — 線C「しばしば」が直接修飾している部分を、本文中から一文節で書き抜いて答えなさい。

ア このままではおそらく失敗するだろう。  
 イ 成功者がすべて立派な人とは限らない。  
 ウ あなたの悲しみがよく理解できる。  
 エ ある人の忠告が私の生き方を変えた。  
 オ 思う通りにはいかないことが多い。  
 カ えんぴつ、またはボールペンで書いて下さい。  
 ア 自立語で活用がなく、「が」などをともなって主語になることができる。  
 イ 自立語で活用がなく、主として連用修飾語になる。  
 ウ 自立語で活用がなく、体言だけを修飾する。  
 エ 自立語で活用がなく、接続語になる。  
 オ 自立語で活用があり、単独で述語になることができる。  
 カ 付属語で活用がある。

④ A	① A
B	B
⑤ A	② A
B	B
⑥ A	③ A
B	B

2

## 小説 (1)

確認問題

■学習日

/

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈阿久悠「ちりめんじゃこの歌」より〉

(注) 僥倖 || 非常にまれな思いがけない幸運。

前任者 || 父の前任者のこと。父は巡察で、新しい駐在所に、家族ぐるみで移ってきた。

配給 || 戦中・戦後に、物資の不足のため、品物を割り当てて配ったこと。

スカ(す) || すましこむ。氣どっている。

□ (1) — 線①「作為」、②「烙印を押され(る)」の、本文中での意味として

最も適切なものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

①「作為」

- ア うそ。
- イ 策略。
- ウ 積極性。
- エ さりげなさ。

②「烙印を押され(る)」

- ア 欠点を見抜かれる。
- イ 根拠のないうわさを流される。
- ウ 得えんた体の知れない奴だと思われる。
- エ はっきり決めつけられてしまう。



## 練習問題

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。





〈井伊直行「三月生まれ」より〉

□(1) — 線① 「三月生まれの性格」と清孝が呼ぶもの」とありますが、「清

孝」の呼ぶ「三月生まれの性格」とは、「亜季」のどんな「性格」のことですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 傲慢で身勝手な部分はあるが、強い意志を持ち、決断力に優れているという性格。

イ 一見ひょうきんで軽薄に見えるが、実は繊細で傷つきやすいという性格。

ウ 穏やかでおとなしい面と、活発で積極的な面を合わせ持っているという性格。

エ 不機嫌さを露骨に表現してはいるが、強引な頼みは断れないという性格。

□(2) — 線② 「タレントのことだって同じ」とありますが、何と、どんな点

で「同じ」のですか。それについてまとめた次の文の□に入る最も適切なことばを、①は十四字、②は三字で、それぞれ本文中から書き抜いて答えなさい。(二つの□には同じことばが入ります)

〈 ① □ 「という質問に対して、 ② □ 答えればいいのと同じように、「どんなタレントを見たことがあるか」という質問に対しても、

② □ 答えればいい。〉

②	①

□(3) — 線③ 「……そういうの、わたしは苦手なの」とありますが、「亜季」

は、どんなことが「苦手」だと言っているのですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 全く見たことも聞いたこともないことをでっちあげること。

イ 話題の提供者となつて、皆の注目的になること。

ウ 聞き手の期待に合わせて、事実を大きめに表現すること。

エ 自分の見聞を聞き手にわかりやすく説明すること。

□(4) — 線④ 「近くにいる子が、聞こえよがしに、なに、東京から来たかと思つて、高ぶつて……」とありますが、「充」は、「近くにいる子」が、

「亜季」に対してどんな感情を抱いていると考えていますか。本文中から三字で書き抜いて答えなさい。

□(5) — 線⑤ 「亜季は表情を曇らせた」とありますが、「亜季」が、「表情を曇らせた」理由を、「充」はどのように理解しましたか。それが書かれて

いる部分を本文中から三十一字(読点も字数に数えます)で探し、その最初と最後の四字を書き抜いて答えなさい。